

平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)			
事業名	福島県環境創造センター(仮称)整備事業		担当部局庁	復興庁			作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	福島復興再生特別措置法第31条		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針(平成24年7月閣議決定)						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放射性物質の環境中の動態解明、放射性物質汚染廃棄物・土壌等の処理・処分技術の評価・開発等、さらなる研究開発の推進を通じて、福島において子どもや親たちをはじめとする住民が安全に安心して生活する環境を回復する。また、地元の住民が安心して豊かな生活を営める環境を実現する等のための新たな産業の創出等に寄与する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文部科学省が平成23年度補正予算に計上した「福島県環境創造センター(仮称)」を置くための福島県原子力災害等復興基金80億に、施設整備費、運営費、研究費を上乗せするための補助金を交付し、完成後は、同センターにおいて、放射性物質汚染廃棄物・土壌等の処理技術の評価・開発や、放射性物質の環境中での動態解明、生態系影響等の解明のための研究を行う。									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
	予算の状況	当初予算			-					
		補正予算			11,337					
		繰越し等			-					
		計			11,337					
	執行額				11,337					
執行率(%)				100.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)		
	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、成果指標の設定は困難である。			成果実績	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込		
	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、活動指標の設定は困難である。			活動実績	-	-	-	-		
				(当初見込み)	(-)	(-)	(-)	(-)		
単位当たりコスト	- (円/)			算出根拠	本事業は福島県における研究拠点の整備を支援するものであり、単位あたりコストの算出は困難である。					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	計									

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	福島復興再生基本方針により、国は、放射線の人体への影響等に関する研究開発の推進等のための必要な措置を講ずることとされている。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	文部科学省が平成23年度補正予算に計上した「福島県環境創造センター(仮称)」を置くための「福島県原子力災害等復興基金」に施設整備費、運営費、研究費を上乗せするために福島県に補助金を交付したものの。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—				
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	福島県、文部科学省と適切に役割分担がなされている。			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
	35	福島の再生・復興に向けた研究開発拠点の整備等				文部科学省
点 検 結 果	福島復興再生基本方針に基づき、福島県が設置する「福島県環境創造センター(仮称)」の運営等を適切にサポートするものである。					
外部有識者の所見						
復興予算の使途明確化の観点から、本事業により造成された基金の執行状況について定期的に把握を行うこと。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	平成24年度予算までで所要額が計上されているため、平成25年度以降は予算計上をしていない。復興予算の使途明確化の観点から、基金の執行状況について適切に把握していくことが必要である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	平成24年度予算までで所要額が計上されているため、平成25年度以降は予算計上をしていない。基金の執行状況について適切な把握に努めていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	
					新25-028	

復興庁
11,337百万円



環境省
11,337百万円

「福島県環境創造センター(仮称)」を置くための福島県原子力災害等復興基金80億に、施設整備費、運営費、研究費を上乗せするための補助金



【補助】

A.福島県
11,337百万円
福島県原子力災害等復興基金
基金残高 11,337百万円
(うち 国庫補助金相当額 11,337百万円)

「福島県環境創造センター(仮称)」の整備等のため、福島県において平成34年度(目処)までに全額支出

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.福島県					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	福島県環境創造センター(仮称)の整備等	11,337			
計		11,337	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	福島県	福島県環境創造センター(仮称)の整備等	11,337	-	-